

このプログラム、
富士山級。

しずおか総診



SFM/SHM

浜松医科大学医学部附属病院
総合診療専門研修プログラム

SFM

家庭医コース

Shizuoka Family Medicine Program

守る。健やかな日常を

SHM

病院総合診療医コース

Shizuoka Hospital Medicine Program

取り戻す。健やかな日常を

地域に飛び込もう。
医師としての軸をつくる
総合診療。

地域医療の第一線で活躍しながら総合診療の専門性を身につける経験は、あなたの医師人生の確かな土台となります。本プログラムでは、多様な実践の場で多様な指導医から学び、幅広い臨床力と、多職種と協働して地域の課題に向き合う力を育てます。総合診療医は、これからの医療を支える要となる存在です。ここで築く軸が、これからの医師人生を支え続けます。仲間とともに学び、成長し続けるキャリアを“しずおか総診”で始めてみませんか。

プログラム責任者 井上 真智子

3つの魅力 しずおか総診

01 多様な総合診療フィールドで学ぶ

家庭医療クリニックから在宅医療、中小規模病院、高度急性期病院まで。さらに静岡県西部・中部・東部の各地域で、都市部から医療資源の限られた地域まで幅広く経験できます。多様な現場を通じて、どの地域でも通用する総合診療力を養います。

02 成長を加速させる、充実の指導体制

外来プリセプティングや病棟カンファレンスなどのOn-the-job trainingに加え、グランドラウンド、勉強会、OSCE、担当指導医との定期的な振り返りを実施。日々の診療経験を確実な実力へと変える、体系的な教育体制が整っています。

03 臨床と学術を両立できる環境

週半日の研究日を確保し、研究プロジェクトへの参加、学会発表、論文・商業誌執筆まで挑戦可能。大学教員・研究者のサポートのもと、臨床力だけでなく、発信力・探究力も高めることができます。

What's

そもそも**家庭医**とは？ そもそも**病院総合診療医**とは？
そもそも「家庭医」「病院総合診療医」とはどんな医師なのか？
現役医師たちの視点で、分かりやすく解説しています！





家庭医コース

Shizuoka Family Medicine Program

目指す医師像

地域で暮らす人の全てのニーズに応えられる
「家族ぐるみのかかりつけ医」

研修カリキュラム

研修期間:計4年間

3年

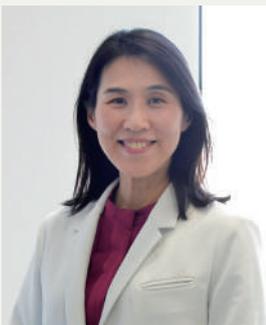
総合診療専門研修プログラム



1年

家庭医療専門研修プログラム

日本専門医機構の総合診療専門研修プログラム(3年)と日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門研修プログラム(1年)の連動型の4年間のプログラムです。それぞれの研修の修了後に受験資格が得られます。



家庭医コース責任者

浜松医科大学地域家庭医療学講座
特任教授

井上 真智子

あらゆる健康問題に包括的に取り組み、継続的に患者さんやご家族の人生のストーリーに伴走する—そんな家庭医としての喜びを体験したい方へ。家庭医コースでは、地域に暮らす人々の健康を「まるごと」支える力を育てます。子どもから思春期、成人、高齢者のケア、女性特有の健康問題、メンタルヘルス、緩和ケアから看取りまで幅広く経験します。予防・健康増進や地域ケア活動にも取り組みます。教育機能をもつ家庭医療センターで指導医や多職種との支援のもと継続外来に取り組み、さらに在宅医療や地域連携を実践から学びます。患者さんの生活や家族背景まで含めて支える医療を経験し、世代を超えて信頼されるジェネラリズムの基盤を、ともに身に付けましょう。

さらに動画で
チェック



病院総合診療医コース

Shizuoka Hospital Medicine Program

目指す医師像

地域の急性期医療を支える
「臓器・疾患横断型の急性期ジェネラリスト」

研修カリキュラム

研修期間:計4年間

3年

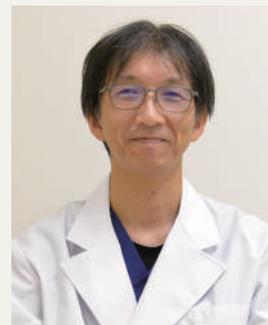
総合診療専門研修プログラム



1年

病院総合診療専門医プログラム

日本専門医機構の総合診療専門研修プログラム(3年)と日本病院総合診療医学会の病院総合診療専門医プログラム(1年)の連動型の4年間のプログラムです。それぞれの研修の修了後に受験資格が得られます。



病院総合診療医コース責任者

浜松医科大学救急災害医学講座
教授

渥美 生弘

患者を診療する際には、専門的な知識や手技も不可欠ですが、患者を一人の生活者として捉え、背景や価値観を含めて全体を診る視点も求められます。病院総合診療医は、こうした全人的な視点に主座を置き、専門科の先生方や他職種と緊密に連携し、患者にとって最適な医療を調整・提供する役割を担います。退院後の生活や療養の場も見据え、患者ご本人、ご家族、そして地域の多くの支援者と協働しながら、その人にとって最適な医療と支援の形をともに考えていきます。病院総合診療医は、病院内と地域医療をつなぐ中央部門として、患者を支えると同時に、医療者をも支える存在です。本プログラムを通じて、この地域に信頼される医療を形づくっていただけることを楽しみにしています。

さらに動画で
チェック



どちらのコースも静岡県医学修学資金および自治医科大学卒業生の勤務条件に対応したプログラムです



健やかな日常を
守る。

日本一ほっとする身近な
総合診療を担う家庭医を育成

家庭医コース

Shizuoka Family Medicine Program

このコースをお勧めしたい方

- "地域ぐるみ・チーム"で医療を実践したい
- 患者さんの"生活まで"継続して診たい
- 将来開業や継承など地域でのキャリアを考えている

プログラムの強み

1 圧倒的! 全科診療

内科・訪問診療を基盤に、小児科、産婦人科、精神科、救急科など多領域の診療を日常的に経験し、年齢や疾患を問わず家族全体を継続的に診る家庭医としての実践力を養います。

3 経験豊富な指導医陣

内科を基盤に、全科的かつ高い診療水準を担える家庭医を育成するため、複数の指導医による段階的・継続的な指導体制を構築しています。症例レビューやフィードバックを通じて診療の質を高めます。

5 ウィメンズヘルス研修

浜松医科大学寄附講座「産婦人科家庭医療学講座」特任准教授による直接指導のもと、婦人科診療や分娩を体系的に学びます。妊婦健診やHPVワクチン啓発など、家庭医として求められる産婦人科領域の実践力を養います。

2 地域で活躍できる家庭医療専門医を育成

複数の家庭医が連携するチーム診療体制のもと、在宅医療を日常診療として経験します。機能強化型在宅療養支援診療所として、在宅ケア、在宅ホスピス、看取りまで一貫して関わります。

4 最先端&充実した研修環境

家庭医療の先進国である米国の家庭医療クリニックをモデルとした施設を中心に研修を行い、診療中も随時指導医に相談できる環境を整えています。加えて、自治体病院や大学病院、高度急性期病院での研修を通じて、多様な診療フェーズを経験します。

6 ミシガン大学家庭医療学教室と連携

家庭医療の先進国である米国のミシガン大学家庭医療学講座と連携し、オンラインレクチャーや来日講師によるグラウンドラウンド(GR)を通じて、国際的視点で家庭医療を学びます。希望者は、米国での家庭医療研修にも参加できます。

SFMローテーション例

家庭医コース 研修カリキュラム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	ローテーション	総合診療Ⅰ			小児科			総合診療Ⅱ			救急科		
	クリニック	Half-day Back											
2年目	ローテーション	内科						選択			総合診療Ⅱ		
	クリニック	Half-day Back											
3年目	ローテーション	整形外科(総診Ⅱ)	産婦人科(総診Ⅱ)	緩和ケア(総診Ⅱ)			選択			総合診療Ⅰ			
	クリニック	One-day Back										週2コマの専門科外来研修	
総合診療専門医受験資格													
4年目	ローテーション	家庭医療Ⅰ											
	クリニック	週2コマの専門科外来研修(精神科/皮膚科/泌尿器科/他選択)											
家庭医療専門医受験資格													

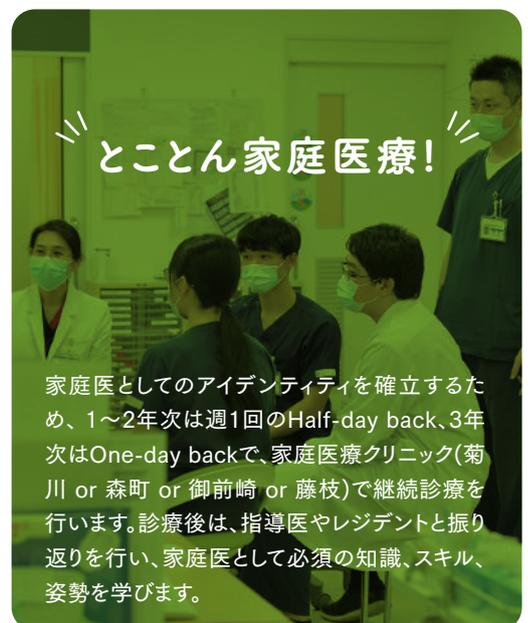
※1コマ=半日

■上記はローテーション案であり、研修する時期は異なる可能性があります。(内容については変更ありません)

■3年目と4年目のローテーションについては専攻医の数によって入れ替わる可能性があります。

■4年間継続して所属先のクリニックにて外来研修を行います。

(Half-day Back: 1週間のうちに半日戻り) One-day Back: 1週間のうちに1日戻り)



家庭医としてのアイデンティティを確立するため、1~2年次は週1回のHalf-day back、3年次はOne-day backで、家庭医療クリニック(菊川 or 森町 or 御前崎 or 藤枝)で継続診療を行います。診療後は、指導医やレジデントと振り返りを行い、家庭医として必須の知識、スキル、姿勢を学びます。



地域の急性期医療を支える 臓器・疾患横断型の急性期ジェネラリストを育成 病院総合診療医コース

Shizuoka Hospital Medicine Program

このコースをお勧めしたい方

- 臓器・疾患を問わずジェネラルな急性期医療を身につけたい
- 高度急性期病院、中小規模病院で幅広く研鑽を積みたい
- 専門領域やクリニックに進む前に病院で総合力を高めたい

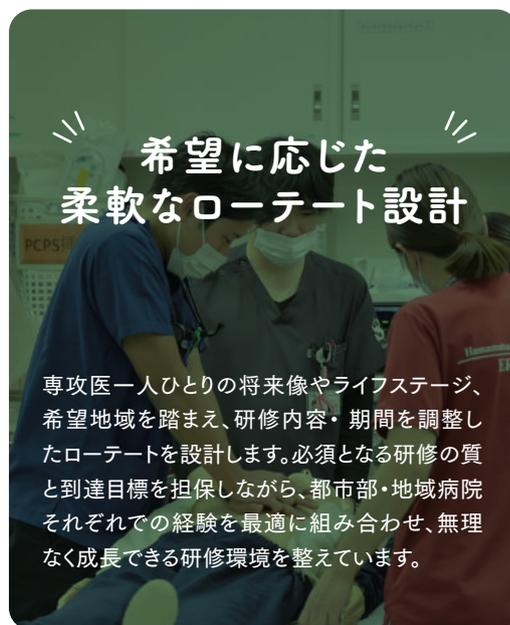
プログラムの強み

- 1 高度急性期病院×中小規模病院**
 高度急性期病院と中小規模の急性期・ケアミックス病院では、病院総合診療に求められる役割が異なります。両方の環境で研修し、診断困難・複雑症例、救急・重症管理、内科全領域の common disease、全科二次救急、かかりつけ医としての外来などの診療能力を身につけます。どのような病院環境でも活躍できる病院総合診療医を目指します。
- 2 幅広く質の高い病棟診療**
 感染症をはじめとした common な急性疾患や院内急変に対する診療、入院中の合併症予防など、病棟で求められる基本的な診療を高い質で修得します。さらに、診断困難例や急性期複合病態などの「未分化・複雑」な健康問題への診療能力を高めていきます。
- 3 病棟に常駐する指導医によるフィードバック**
 病棟には指導医が常駐し、日々の診療に対してタイムリーにフィードバックを行い、管理回診や教育回診、カンファレンスも行います。幅広く質の高い病棟診療に加え、チームマネジメントを実践できる能力を養います。
- 4 エキスパートによるサポート**
 連携施設をつないだオンライン会議で、各臓器別専門領域やテーマ別のエキスパートによる勉強会、症例コンサルテーションを行います。さらに、オンラインプラットフォームを活用した非同期での診療相談や資料共有も可能で、他施設の指導医からもサポートを受けられます。
- 5 急性期ジェネラリストとしての多様なキャリア形成を支援**
 内科・救急科の専門研修も行える施設・指導医体制のプログラムです。内科・救急科専門研修としてSHMでの研修を行うことや、総合診療専門医+内科・救急科専門医のダブルボード研修、臓器別内科や集中治療などのサブスペシャリティ/スペシャリティ研修への移行など、希望するキャリアに応じて柔軟に対応しサポートします。

SHMローテーション例

病院総合診療医コース 研修カリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (高度急性期病院)						集中治療 (高度急性期病院)			小児 (高度急性期病院)		
2年目	総合診療II (中小規模病院)											
3年目	選択 (緩和、リハなど)		救急 (高度急性期病院)			総合診療I (家庭医療クリニックなど)						
総合診療専門医受験資格												
4年目	病院総合診療 (高度急性期病院 or 中小規模病院)											
病院総合診療専門医受験資格												



希望に応じた柔軟なローテート設計

専攻医一人ひとりの将来像やライフステージ、希望地域を踏まえ、研修内容・期間を調整したローテートを設計します。必須となる研修の質と到達目標を担保しながら、都市部・地域病院それぞれでの経験を最適に組み合わせ、無理なく成長できる研修環境を整えています。

まちのお医者さんとして地域の生活に密着した家庭医療を実践したいので、研修でも同じ患者さんをしっかり診続ける経験を積みたい！在宅の経験をたくさんしたい！



家庭医療クリニックで外来診療

専攻医1年目から所属クリニックで外来診療(半日/週)があり、2年目以降は少しずつ外来枠が増えていきます。4年間同じクリニックで外来診療を行えるため、患者・家族・地域と継続性のある深い関わりができます。

こども・家族

家庭医療センターでは年齢を問わず患者の健康問題にも、小児期においては感冒などの日常診療から予防接種、乳児期健康診断などの予防医療にも対応しております。



家庭医療クリニックから訪問診療

専攻医2年目から訪問診療が始まります。訪問診療には看護師と指導医も同行します。

在宅緩和ケア、終末期ケア、在宅看取り

訪問診療では緩和ケアや終末期ケア、看取りにも対応します。ご本人のご意向はもちろん、生活を共にされるご家族の健康・精神面にも目を向け、診療を行っていきます。

地域活動



地域住民の健康増進・予防医療の一環として、中学校・高校などでの健康診断・性教育、外国人の受療支援などにも取り組んでいます。

ウィメンズヘルス



産婦人科研修にて基本的な医療面接・身体診察に焦点をあてた外来症例や周産期医療などを経験し、家庭医療センターでは、妊娠含めた女性特有の健康課題に総合的に対応します。

病院研修



地域基幹病院および高度急性期病院で、多診療科のローテーション研修を行い、臓器別専門医から丁寧な指導を受けられます。

What's SFM/SHM

あなたにとって
しずおか総診とは？

私にとってしずおか総診は、「自己実現に最適な場所」と言えます。常に指導医に相談できる環境の中で家庭医療を学べて、日々成長を感じています。

1年間やってきて、やっぱりここに入ってよかったと思うプログラムです。

菊川サイト 専攻医1年生



「ご近所さん」たちと共に学びあう場。しずおか総診では多彩な指導医の先生方に教わることはもちろん、来院される事情通な「ご近所さん」から地域の耳寄り話を聞き、私たちは医療の耳寄り話を伝えて、総合診療を実践できる場です。

聖隷浜松病院 専攻医1年生



さらに動画で
チェック



地域の急性期病院で自信を持って働けるように、臓器・疾患を問わない全人的な病院総合診療を、救急対応や重症管理も含めて身につけたい！



高度急性期病院・中小規模病院での実践

入院診療

研修の前半は主治医としての診療経験を数多く積み、診られる疾患、病態を1つずつ増やしていきます。後半には、病棟チーム・多職種連携のリーダーとしてのチームマネジメントも身につけていきます。チームで診療するため、休日・休暇や当直明けは仲間に安心して引き継ぎ、オフの時間をしっかり確保できます。

病棟担当患者一例

■高度急性期病院

不明熱(最終診断は結節性多発動脈炎)

誤嚥性肺炎+重症呼吸不全

■中小規模病院

急性前立腺炎+大腿骨頸部骨折(整形併診)

COPD急性増悪+肺血栓塞栓症



救急医療・集中治療

高度急性期病院で専門性の高い蘇生や重症管理を身につけ、中小規模病院でも実践します。



外来診療

初診患者の診療経験を数多く積み、よくある症候、疾患から、診断困難例・複雑事例まで、幅広く診られる能力を身につけていきます。一緒に外来を行っている指導医から指導を受けます。



外来担当患者一例

■高度急性期病院

発熱→伝染性単核球症 皮疹+リンパ節腫脹→2期梅毒

倦怠感→起立性調節障害+不安症

■中小規模病院

発熱+咳嗽→インフルエンザ 胸痛→帯状疱疹 倦怠感→副腎不全

多職種連携

患者の個性に合わせた目標設定と最適なケアを提供するために、院内外の多職種との連携は欠かせません。日々の診療の中での連携はもちろん、毎週の病棟多職種カンファレンスや退院前カンファレンス、臨床倫理カンファレンスなどを行います。



クリニックの診療

家庭医療クリニックで全年齢・全科におよぶcommonな症候・疾患の診療、慢性疾患の診療、訪問診療などを研修します。



アットホームな雰囲気の中で、指導医にも気軽に相談できる環境です。藤枝市家庭医療センターの新規開設や病院総合診療医コースの新設など、新しい取り組みも積極的に行なっているプログラムです！

藤枝サイト 医師

実家継承を目的にしずおか総診へ。幅広い診療を担う実家で進路に悩む中、このプログラムに出会い総合診療を身につけることができました。継承で悩む先生におすすめです。

御前崎サイト 医師

しずおか総診は海外でも通用するGeneral Practiceのトレーニングができる場だと思います。将来は英国に臨床留学したいと考えていますが、国際標準的なカリキュラムで家庭医療を学べるのは魅力的です。ミンガン大学での短期研修に参加する事もできますので、将来的に海外留学を考えている先生にお勧めです。

森町サイト 医師

研修フィールド

各コースに対応した研修施設が連携し、異なる医療機能や役割を持つ現場で、多様な総合診療研修を行います。

ここでは、プログラムを支える研修施設をご紹介します。

地域を支え、総合力を磨く中核拠点

1 浜松医科大学医学部附属病院 救急・総合診療科

静岡県浜松市

救急科と総合診療科が1つの診療科群として連携しています。総合診療科外来では診断困難例の精査など、救急外来では様々な背景疾患を持つ患者の急性重症病態に対する初期対応など、入院診療ではcommonな急性病態から重症・複雑・診断困難例まで、幅広く経験し成長できる環境です。



浜松医療センターと連携しています



家庭医育成のためにできた4つの家庭医療センター

2 菊川市家庭医療センター (あかっちクリニック)

静岡県菊川市



外来・病棟を通じて豊富な臨床経験を積み、院内外の多職種と連携する力を高めます。外来リハビリでは整形外科に加え高齢者リハビリも学び、生活を見据えた医療を実践します。小児診療や乳幼児健診、園医・学校医としての活動、外国人医療にも関わり、多様な患者に対応できる家庭医としての実践力を、経験豊かな先輩家庭医のもとで身につけます。

3 森町家庭医療クリニック

静岡県周智郡森町



妊婦健診や頸がん検診を含め婦人科診療とその研修に力を入れています。男女年齢問わずライフステージに生じる様々な問題に多職種で応じる中で、指導医とディスカッションしながら総合的な診療の力を伸ばしていきます。

4 御前崎市立家庭医療センター しろわクリニック

静岡県御前崎市



外来・在宅・病棟を横断した診療を日常的に経験でき、指導医との距離が近いことが強みです。症例検討や振り返りを重視し、臨床判断のプロセスを言語化しながら学べる環境を整えています。

5 藤枝市家庭医療センター 藤枝みんなのクリニック

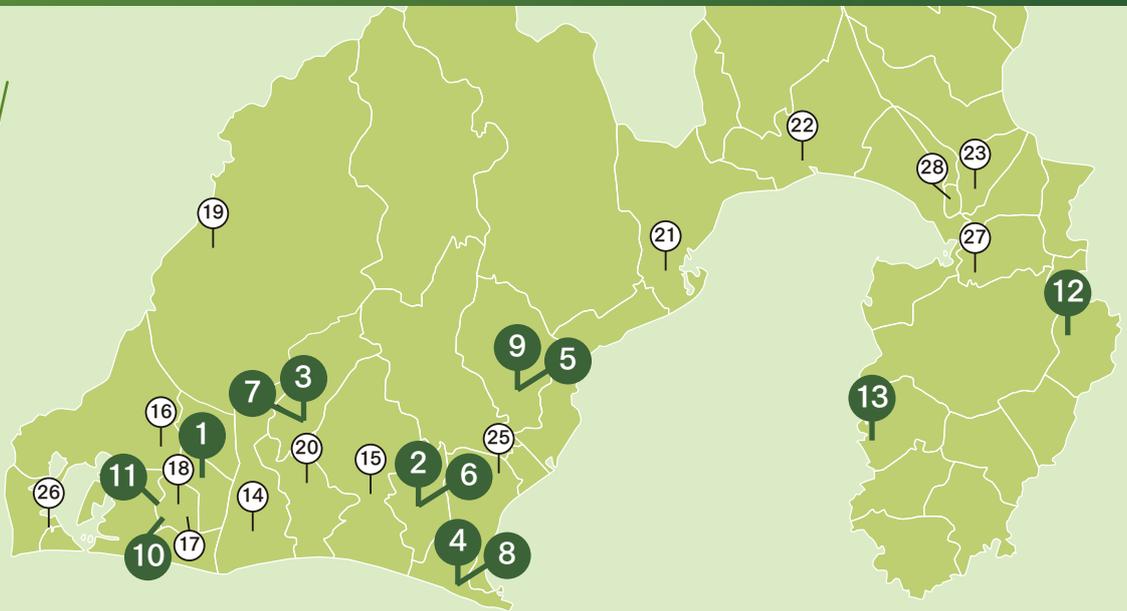
静岡県藤枝市

2026年4月開院



2026年開院の新しい家庭医療センターです。菊川・森町・御前崎の実践を参考に、総合診療・家庭医療の勉強になる場、活き活きと研修できる場を目指します。

さらに動画で
チェック



6 菊川市立総合病院

静岡県菊川市



7 公立森町病院

静岡県周智郡森町



8 市立御前崎総合病院

静岡県御前崎市



9 藤枝市立総合病院

静岡県藤枝市



10 浜松医療センター

静岡県浜松市



11 聖隷浜松病院

静岡県浜松市



12 伊東市民病院

静岡県伊東市



13 西伊豆健育会病院

静岡県賀茂郡西伊豆町



14 磐田市立総合病院

17 浜松佐藤町診療所

20 袋井市立聖隷袋井市民病院

23 三島共立病院

26 市立湖西病院

15 中東遠総合医療センター

18 坂の上ファミリークリニック

21 清水厚生病院

24 南生協病院 | 愛知県

27 伊豆保健医療センター

16 聖隷三方原病院

19 佐久間病院

22 トータルファミリーケア北西医院

25 榛原総合病院

28 静岡医療センター

専攻医を支える教育サポート

グラウンドラウンド(GR)



第2・4木曜日の午後には、指導医や専攻医が各サイトから集まり、専攻医の振り返りやレクチャー、セミナーなど専攻医の為の学びの機会を設けています。普段はそれぞれのローテートスケジュールに沿って研修している専攻医にとって、GRはプログラム全体の交流の場にもなっており、情報交換ができる貴重な時間になっています。

アドバイザー制度

各専攻医に対して指導医1名がアドバイザーとなり、定期的にアドバイザーミーティングを行って、総合診療医としての成長をとともに確認していきます。



外来・病棟プリセプティング

各クリニックの外来裏にはプリセプター室(指導室)を設置、病院の病棟にも指導医が常駐し、診療の合間いつでも相談できる環境が整っています。様々な症例を診る病院総合診療医・家庭医の専攻医には心強いサポート体制です。

豊富なOff-the-Job Training

個別レクチャーやカンファレンス、勉強会など、時には多職種も交えた学びの機会が多く用意されています。

経験豊富な指導医陣

さらに動画で
チェック



鳴本
敬一郎



浜松医科大学地域家庭医療学講座
特任准教授

生物医学的な臨床推論はもちろん、家庭医療学や患者・家族のストーリーを活かしたケアについて学べます。地域住民の生活から距離が近く、今まさに必要とされている専門科です。百聞は一見に如かず。是非、一度見学にお越しください!

私自身もやりたいことがたくさんあります!
一緒に成長していきましょう!

松田
真和



菊川市家庭医療センター
所長

目の前の人の生活や人生に、その家族に、そして地域に、とことん向き合えます!ぶっちぎりの全科診療を実践するための臨床力を磨けます!様々な学びを統合しながら、家庭医療を追求できます!あなたの夢をお手伝いできると嬉しいです!

スポーツ観戦が趣味です。阪神タイガースファン歴30年以上、勝っても負けても虎命!

棚橋
信子



森町家庭医療クリニック
所長

マイペースで学べるプログラムだと思います。個々の希望を汲んで研修プランを組み立てていくように努力しています。いろいろご相談ください。

専攻医が患者さんから褒められると、とても嬉しいんです!

本田
優希



浜松医科大学地域家庭医療学講座
浜松医科大学医学部附属病院
総合診療科

総合診療は臓器や疾患で対象を定めないジェネラルな医療で地域の健康に貢献できます。静岡県内のクリニック、中小規模病院、高度急性期病院で質の高い研修ができる本プログラムで、キャリアを踏み出しましょう!

子育てで奮闘中!
NBA観戦も大事な時間です!

目指せるキャリア

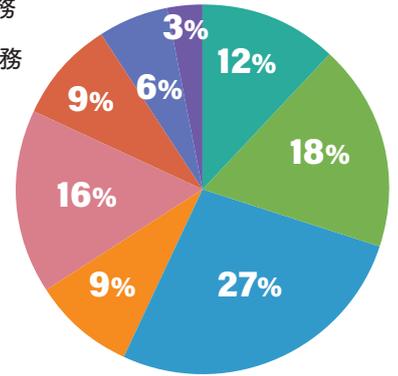


01 プログラム内で 指導医・スタッフとして勤務

修了後も静岡に残り、プログラム内で活躍する医師が多くなります。

修了生のキャリア

- 12% プログラム内で指導医として勤務
- 18% プログラム内でスタッフとして勤務
- 27% 家庭医として勤務
- 9% 病院総合診療医として勤務
- 16% 医院の継承や開業
- 9% ダブルボード専門医として勤務
- 6% 海外研修・勤務
- 3% 大学教員



02 総合診療医・家庭医・ 病院総合診療医として勤務

修了後、県内外の病院・クリニックで、当プログラムでの経験を活かし、総合診療医、家庭医、病院総合診療医として活躍する医師もたくさんいます。

04 医院の継承・開業

実家の医院を継承したり、新たにクリニックを開業したり、新たなステージに進んでいる仲間も多くなります。



05 スペシャルインタレスト サブスペシャリティ

総合診療を基盤に、女性診療、在宅・緩和ケア、感染症、スポーツ医学、メンタルヘルスなどの臨床専門領域や消化管内視鏡などの手技、医学教育など、各自が必要とする得意分野を伸ばすトレーニングを行います。

03 ダブルボード専門医として勤務

総合診療専門医に加え産婦人科専門医も取得し、産婦人科医として勤務する医師もいます。

06 アカデミック 総合診療医

大学院で研究を行いMPHやPhDの学位を取得したり、大学教員として学生教育や研修プログラムの運営に携わることもできます。

07 内科専門医・ 救急科専門医の ダブルボード研修

総合診療専門研修修了後、内科または救急科の専門医を期間を短縮して取得するダブルボード研修も可能です。

フェローシップ

家庭医療における臨床スキルを
1年で身につける

老年医学フェロー
リハビリテーションフェロー

しずおか総診には、あなたの医師力をさらに高めるチャンスがあります！

総合診療における臨床研究の能力を
大学院生として4年間で身につける

リサーチフェロー

家庭医療実践の場、
教育の機会を確保しながら、
海外の大学院の進学支援が受けられる

へき地医療+家庭医療学修士
コンバインドフェロー

しずおか総診をじっくり知れる

イベント開催中!

オンライン

リアルイベント

ワークショップ

説明会

勉強会

見学会

気軽に参加OKです!
詳しくはホームページのイベント情報ページをご覧ください。

総合診療医に
転向したい人

ジェネラルに
診療したい人

どなたでも、いつからでも

総合診療医を

目指していただける環境を整えてお待ちしております

開業する前に、総合診療を経験しませんか?

しずおか総診の

開業前研修

面談や臨床現場の見学など受け付けています。ご関心のある方はお気軽にお問い合わせください!

📧 しずおか総診情報配信サービス

こんな情報メールをお届けしています

- 🌞 プログラムに関する情報
- 🌞 専攻医・医師などの募集情報
- 🌞 医師の働き方、活躍などのレポート
- 🌞 レジナビ・説明会、ワークショップなどのイベント情報

登録は簡単です!ぜひご活用ください!

日々情報をアップしています!
フォローお願いします!

公式Instagram ▶ 

公式facebook ▶ 

公式LINE ▶ 

公式X ▶ 



しずおか総診

浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山1-20-1(浜松医科大学)

TEL.053-435-2416 FAX.053-435-2417

お問い合わせ受付時間 9:00~16:00

ホームページ
<https://www.shizuoka-fm.org/>

メール
sfm@shizuoka-fm.org

